

保護者の皆様

札幌市立石山緑小学校
校長 須藤 慎也

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に対しまして御理解、御協力を賜り、感謝申し上げます。さて、4月に6年生を対象に行われました全国学力・学習状況調査について、国や札幌市からの情報提供を受け、本校の学力と学習状況についての分析を行いましたのでお知らせいたします。

<国 語>

本校の概要

- ☐ 「知識及び技能」言葉の特徴や使い方に関する事項→全国平均を上回っている。
情報の扱い方に関する事項 → 全国平均を下回っている。
我が国の言語文化に関する事項→全国平均を上回っている。
- ☐ 「話すこと・聞くこと」→ 全国平均を上回っている。
- ☐ 「書くこと」→ 全国平均と同程度であるが、やや下回っている。
- ☐ 「読むこと」→ 全国平均を下回っている。

<今回の調査における課題>

- 情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと
- 図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること
- 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること

<改善の方法>

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けしたりして、伝え合う内容を検討する学習の充実
- 説明文の学習で、筆者の主張とその根拠となる図表をつなげて考える学習の充実
- 読み手の知識や経験を具体的に想定し、それに応じて書き出しや構成を考えて書く学習活動の充実
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする学習の充実

<算 数>

本校の概要

- ☐ 「数と計算」→ 全国平均を下回っている。
- ☐ 「図形」→ 全国平均を下回っている。
- ☐ 「測定」→全国平均を下回っている。
- ☐ 「変化と関係」→ 全国平均を下回っている。
- ☐ 「データの活用」→ 全国平均を下回っている。

<今回の調査における課題>

- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉で記述すること
- 数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えること
- 異分母の分数の加法の計算をすること
- 小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えること
- 角の大きさについて理解すること

<改善の方法>

- 比例の学習の単元だけでなく、日常的に数量の変化について考える場の設定
- 数を構成する単位に着目し、数の相関関係など及び大小関係について考察したり、分数・小数の意味や表現に着目したりする場の設定
- 正三角形の意味や性質を操作的に考え、実感を伴って理解する学習の充実

<理科>

本校の概要

- A 区分「エネルギー」を柱とする領域→ 全国平均を下回っている。
- A 区分「粒子」を柱とする領域→ 全国平均を下回っている。
- B 区分「生命」を柱とする領域→ 全国平均を下回っている。
- B 区分「地球」を柱とする領域→ 全国平均と同程度であるが、やや下回っている。

<今回の調査における課題>

- 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識を理解していること
- ヘチマの花のつくりや受粉についての知識を理解していること
- 発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること
- 水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること
- 「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること

<改善の方法>

- 条件を制御しながら調べる活動を通して、観察や実験などに関する技能を身に付けたり、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現したりする学習活動の充実
- 水の性質について、体積や状態の変化、熱の伝わり方に着目して、それらと温度の変化とを関係付けて調べる学習活動の充実
- 既習の内容や生活経験を基に水の温度を変化させたときの体積や状態の変化、熱の伝わり方について、根拠となる予想や仮説を発想し、表現する学習の場の設定

<児童質問紙より>

○→全国平均より上回っている ▲→全国平均より下回っている

<基本的生活習慣>

- 毎日、同じ時刻に寝ている子の割合 ○毎日、同じ時刻に起きている子の割合
- ▲毎日、朝食を食べている子の割合

<挑戦心・達成感・規範意識・自己肯定感>

- 人が困っているときは、進んで助けている ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 学校に行くのは楽しいと思う ○普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある
- 友達関係に満足している ▲自分にはよいところがあると思う

<学習習慣・学習環境>

- 読書は好きである ▲家にある本の冊数
- ▲学校以外での学習時間(平日) ▲学校以外での学習時間(土日)

<地域や社会に関わる活動>

- 地域や社会をよくするために何かしてみたい

<ICTを活用した学習>

- 自分がインターネットを使って情報を収集することができる
- ICT 機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる子の割合

<学習に関する興味・関心>

- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習内容につなげることができる
- ▲自分の考えを発表する場で自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している
- ▲学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

上記の結果を踏まえ、子どもが「学校が楽しい」「各教科が好き」等の意欲を大切に、学習内容の定着・学力の向上に向けて、「分かるできる楽しい授業づくり」に取り組んでいきます。更に子どもたちが目標をもち、自己肯定感を高めることができるよう関わっていきます。御家庭でも、基本的生活習慣の確立、家庭での学習時間の確保、ゲームやタブレット・携帯電話等の使用の約束を決めるなど、御協力をお願いいたします。